

微生物等取扱等申請書

申請日 20XX年 XX月 XX日

東京科学大学長 殿

国立大学法人東京科学大学微生物等安全管理規則第18条の規定に基づき、下記微生物等の取り扱いについて申請します。

記

研究課題名 (※保管の場合は不要)	〇〇ウイルス感染・増殖モデルの構築、及びヒトの血漿成分の解析
使用・保管期間 (注1)	承認後 から 20XX年 3月 31日
申請の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 使用 (新規) <input type="checkbox"/> 保管のみ (新規)    最長 5 年 <input type="checkbox"/> 許可内容の変更・保管の継続 (許可番号: ) <input type="checkbox"/> 実験従事者のみの変更 (届出) (許可番号:                      変更日: )
微生物等取扱等責任者名 連絡先	所属: 生命理工学院 職名: 教授                      氏名: 研究 花子 内線: 1234                      E-mail: <a href="mailto:tkenkyu@xxx.titech.ac.jp">tkenkyu@xxx.titech.ac.jp</a> 基礎研究 ID: 20XXXXXB
微生物等取扱等従事者名	所属: 生命理工学院 職名: 准教授                      氏名: 東工 太郎 基礎研究 ID: 20XXXXXB  所属: 生命理工学院 職名: 博士 2 年                      氏名: 基礎研究 ID: 20XXXXXB  所属:                      氏名: 職名:                      氏名: 基礎研究 ID:
微生物等の名称 (注2)	〇〇ウイルス, ヒトの血漿
感染症法の適用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無                      感染症法の適用について、該当する場合は記載してください。 <input type="checkbox"/> 有 (    三種病原体等    ・    四種病原体    )
本学での BSL 等の分類	BSL2 ・ ABSL2
微生物等の特性 (当該微生物に対する知)	〇〇ウイルス: x x x 病の原因ウイルスである。ワクチンの開発はされていないが、成人の 8 割以上は抗体を保有する。

本学において申請対象となる微生物等の取り扱いを行う可能性のある人物は、全員記載してください。

申請前に、微生物等取扱教育訓練を受講し、基礎研究 ID を記入してください。なお、申請に関わる全員 (責任者、従事者) が受講してください。

<p>見及び認識等) ※未知の病原性微生物等が含まれている可能性についても記載すること。</p>	<p>血漿：提供元により基本的なウイルスチェックを行った結果、全て陰性であったが、未知のウイルスの存在は否定できないもの。提供元はBSL2での取り扱いを推奨している。(別添参照)</p>			
<p>従事者への感染防止などの対応方法</p>	<p>万が一に備え、ヒトの血漿成分を取扱う研究者にはHBVワクチンを接種済みである。</p>			
<p>使用・保管等の目的及び概要(注3)</p>	<p>提供元からBSLの指定や推奨がある場合は記載の上、エビデンスを添付してください。「ヒト検体」で入手先が異なる場合は、変更申請をしてください。</p> <p>実験内容に即して微生物等の使用目的や使用方法等を記載してください。</p>			
<p>実験・保管等を行う施設及び設備に関する情報 (微生物等の保管方法・保管場所、消毒滅菌方法を記載。安全キャビネット、オートクレーブ、保管するフリーザー等を記載し室内図にも明示する。)(注4)</p>	<p>建物名称</p>	<p>〇〇キャンパス 1号棟</p>	<p>部屋番号</p>	<p>1号室(保管場所) 2号室(実験場所)</p>
<p>〇〇ウイルス、及びヒトの血漿はいずれも暗証番号入力式の扉で区切られた研究責任者の研究室(1号棟1号室)で保管を行う。実験室(1号棟2号室)への移動の際は、密閉された容器を使用し、拡散防止に務める。使用済みの機器等は全てオートクレーブしてから廃棄する。</p>				
<p>安全設備及び運営基準</p>	<p>次の基準を満たしている。 ( <input checked="" type="checkbox"/> はい )</p> <p>BSL1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の微生物学実験室を用い、特別の隔離の必要はない。</li> <li>・一般外来者は当該部の管理者(部長等、室長、管理運営委員)の許可及び管理者が指定した立会いのもと立入ることができる。</li> </ul> <p>BSL2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の微生物学実験室を限定した上で用いる。</li> <li>・エアロゾル発生のおそれのある病原体等の実験は必ず生物学用安全キャビネットの中で行う。</li> <li>・オートクレーブは実験室内、ないし前室(実験室につながる隣室)あるいはさらにその周囲の部屋に設置し使用する。できるだけ実験室内に置くことが望ましい。</li> <li>・実験室の入り口には国際バイオハザード標識を表示する。</li> <li>・実験室の入り口は施錠できるようにする。</li> <li>・実験室のドアは常時閉め、一般外来者の立入りを禁止する。</li> </ul>			
<p>その他特記事項 (例：入手方法・運搬に関すること等を含む)</p>	<p>〇〇ウイルスは共同研究先である〇〇センターから入手し、外部に漏れないよう密閉容器に入れて運搬する。 ヒトの血漿成分は共同研究先である病院から入手し、外部に漏れないよう密閉容器に入れて運搬する。</p>			
<p>関連するライフサイエンス研究についての申請・</p>	<p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会 (新規申請中・変更申請中・許可済み)</p>			

事務局記入欄  
 受付番号：  
 受付日：

許可状況  ※本研究計画の実施に際し、必要となる他の委員会の申請状況を記載すること。	(受付番号・許可番号： )
	<input checked="" type="checkbox"/> 人を対象とする研究倫理審査委員会 (新規申請中・変更申請中・許可済み) (受付番号・許可番号： ●●●● )
	<input checked="" type="checkbox"/> 遺伝子組換え生物等実験等安全管理委員会 (新規申請中・変更申請中・許可済み) (受付番号・許可番号： ▲▲▲▲ )
	<input type="checkbox"/> その他の委員会 (委員会名： ) (新規申請中・変更申請中・許可済み) (受付番号・許可番号： )
	<input type="checkbox"/> 該当なし

委員会審査欄	審査終了日： 年 月 日 審査結果：
学長許可欄	許可日： 年 月 日  微生物等取扱等 使用・保管 を許可します。  許可番号 B使・保202×00× 号  <p style="text-align: right;">東京科学大学長 (公印省略)</p>

記入要領

- 注1 予定している使用又は保管期間を記入すること。(使用・保管ともに、5年を限度とする。)
- 注2 「ヒト検体」を取り扱う場合、許可済みの課題であっても入手先の追加・変更がある場合は変更申請が必要。
- 注3 保管の場合は、保管の目的を記載すること。
- 注4 別紙 (様式任意) にて建物のフロア図面、部屋内図面を添付すること。

フロア図面、部屋内図面の添付漏れのないよう、御注意ください。